

金沢市工業用水道事業の紹介

○まえがき

北陸自動車道金沢森本ICに隣接した金沢テクノパーク工業団地は、標高約50～100mの森に囲まれた丘陵地に位置しています。総面積約98haの工業団地には、通常課せられる緑化義務がありません。また企業立地に際しては、最大26億円という助成制度が石川県と金沢市によって整えられているうえ、金沢市内には優秀な学術機関と技術力のある企業が集積しています。

○事業の経緯

金沢市の工業用水道事業は、学術集積の高い金沢市にふさわしい都市型先端産業集積拠点としての金沢テクノパーク工業団地に低廉な工業用水を安定供給し、もって金沢市工業の健全な発展に寄与することを目的として建設されました。

平成8年3月に金沢テクノパーク浄水場が築造され、平成9年4月より給水を開始しております。

○ユーザーの概要

(平成20年12月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
機械	2件	14
精密機器	1件	590
電気機器	1件	35
計		639

○施設の概要

金沢テクノパーク浄水場は涌波川の支川を水源とし、導水ポンプ場からφ150mmの導水管にて約800m離れた金沢テクノパーク浄水場へ導水しています。

現在の給水能力は1,700m³/日ですが、将来計画は3,100m³/日の供給予定です。

給水方式は自然流下方式を採用しており、配水管は、管径φ75～φ250mmで総延長3,316mです。

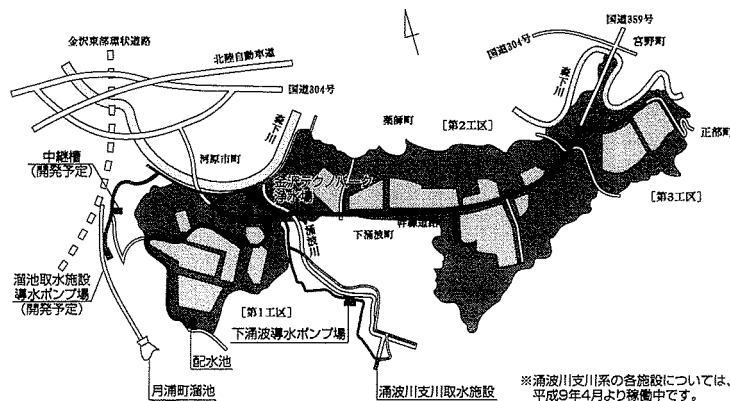
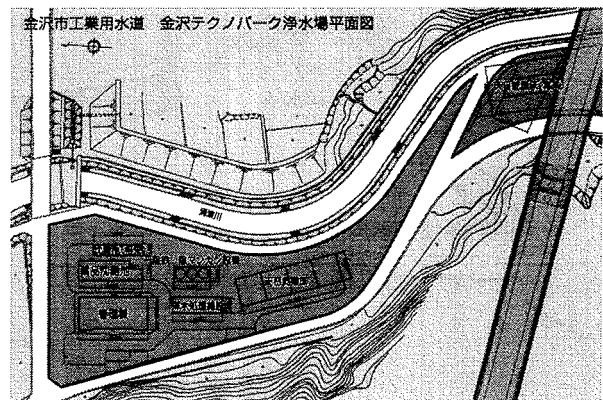
○事業の特徴

金沢テクノパーク浄水場では、急速濾過方式を採用しており、良質で安定した工業用水を提供しています。

○金沢市企業局のホームページアドレス

<http://www2.city.kanazawa.ishikawa.jp/>

○金沢市工業用水道事業概要図



※涌波川支川系の各施設については、平成9年4月より稼働中です。